

期 「総合的な学習の時間」改善のための振り返り

評価期間 年 月 日 ～ 年 月 日

自己評価 A：良くあてはまる B：あてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない

	項 目	自己評価
指 導 計 画	1 「探究的な見方・考え方」を磨き、発揮することのできる横断的・総合的な学習となるよう計画した。	A B C D
	2 よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えることができるよう計画した。	A B C D
	3 課題の解決に必要な知識及び技能を身につけることができるよう計画した。	A B C D
	4 「課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現」というプロセスを身につけることができるよう計画した。	A B C D
	5 主体的・協働的に課題の解決に取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を養うよう計画した。	A B C D
	6 自然体験、社会体験、観察・実験、見学、調査、発表、討論など多様な学習活動を計画に位置づけた。	A B C D
	7 個人学習、グループ学習、異年齢集団による学習など多様な学習形態を計画に位置づけた。	A B C D
	8 地域や学校、生徒の実態等を踏まえ、その特色を活かして計画した。	A B C D
	9 小学校における総合的な学習の時間の取組を踏まえて計画した。	A B C D
学 習 課 題	1 社会や生活の中から問いを見だし、取り組むべき課題を生徒自身が設定した。	A B C D
	2 各教科で得た資質・能力や見方・考え方を総合的に活用すべき横断的・総合的な課題となっていた。	A B C D
	3 生徒が解決への意欲を高め、解決への見通しをもてるような課題となっていた。	A B C D
	4 課題の解決を通して育成を目指す資質・能力を具体的に明らかにした。	A B C D
学 習 の 成 果	1 全ての学習の基盤となり、実社会・実生活において活用することのできる資質・能力を身につけた。	A B C D
	2 学習の過程において、比較・分類・関連付けなどの技法を活用し、身につけた。	A B C D
	3 パソコンやインターネットを効果的に活用して、情報収集・整理・発信などの学習活動を行った。	A B C D
	4 探究的な学習のよさを体験し、様々な場面で探求的な学習を進めようとする態度が身についた。	A B C D
	5 課題の探究を通して、自己を理解し、自己の生き方を考えることができた。	A B C D
指 導 体 制	1 生徒の学習状況に応じて教師が適切な指導を行った。	A B C D
	2 地域の人々や専門家の協力を得ながら、地域の教材や学習環境を積極的に活用した。	A B C D
	3 全教師が適切な役割分担の下、一体となって指導に当たる指導体制ができていた。	A B C D
	4 学校図書館の活用、他の学校との連携、社会教育施設や社会教育団体等との連携などの工夫を行った。	A B C D
評 価 の 工 夫	1 生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、意欲の向上を図った。	A B C D
	2 自己評価や相互評価、アンケート、作文、ポートフォリオなど多様な方法を活用し、評価の工夫を行った。	A B C D
	3 かかわった教員全員の目を通して評価し、それをまとめた。	A B C D
	4 外部指導者からの多面的な声を収集し、評価に活かした。	A B C D
	5 「課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現」の各場面を適切に評価するための工夫を行った。	A B C D
	6 評価の結果によって指導方法を改善するなどして指導の質を高め、指導と評価の一体化を図った。	A B C D